

科目名	コンピュータシステムⅡA						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	底田 浩次		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	PHPの学習を通じて、Webアプリケーションの動作の仕組み、Webアプリケーションのセキュリティ対策(サニタイジング・XSS対策・SQLインジェクション対策)などを学習し、セッションという概念やcookie管理などを学習する。また、その中でDBアクセス及び、Webアプリケーションの基礎を学習する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				システム開発の概要を理解する。	
	○	○				セキュリティに対する脅威を理解する	
	○	○				脅威に対してのセキュアなプログラミングを理解する。	
テキスト・教材 参考図書	『すらすらわかるPHP』(翔泳社)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	PHPの基礎 変数の型					
	2-3	制御構文・IF文とFor文					
	4-6	While文とSwitch文					
	7	授業内評価テスト① 今までの振り返り				既習内容を必ず復習しておくこと	
	8-9	一次元配列と連想配列					
	10-11	ForEach文					
	12-14	ビルトイン関数と自作関数と変数のスコープ					
	15-18	Webアプリの開発 ファイルの読込と表示				既習内容を必ず復習しておくこと	
	19	授業内評価テスト② 今までの振り返り					
	20-21	GETメソッドとスーパーグローバル変数					
	23-24	フォームの作成画像のアップロード・ラジオボタンの作成					
	25-26	画像の一覧表示・サムネイルの作成					
	26	授業内評価テスト③ 今までの振り返り				既習内容を必ず復習しておくこと	
27-29	DBを用いたマルチページ掲示板の作成						
30	プリペアドステートメント 後期に関して						
評価方法	(1)授業内評価テストを数回実施する。 (2)授業内に課題演習を指示し、課題の完成度や提出状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	○	◎				50%
	課題・レポート		◎		○		40%
	受講状況				◎		10%
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位未取得となる。 授業計画は状況により変更になることがある。再試験は実施しない。						

科目名	ネットワーク・サーバー演習A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	底田 浩次		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	企業内サーバとして構築されるLinuxについて、基本的な操作方法、役割などを学ぶ。またGit及びGitHubを学びながらLinuxの基本操作、SSHなどのCUIコマンド操作を学習する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				Linuxの概念や役割を説明できる	
	○	○				Gitによるバージョン管理を学ぶ	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	OSとLinuxの歴史					
	2	Windowsのコマンドプロンプトの操作①					
	3	Windowsのコマンドプロンプトの操作②			既習内容を必ず復習すること		
	4	ターミナルのコマンドの操作① 授業内評価テスト①					
	5	ターミナルのコマンドの操作②			既習内容を必ず復習すること		
	6	Gitに関して 授業内評価テスト②					
	7	GitBashのインストールと、初期値設定					
	8	GitBashを使った、ローカルリポジトリの作成			既習内容を必ず復習すること		
	9	Gitコマンドの基本 授業内評価テスト③					
	10	ローカルリポジトリのリセットと、ステージングエリア					
	11	差分の確認とコミット					
	12	コミットの履歴の確認					
	13	任意のコミットにロールバックする方法			既習内容を必ず復習すること		
	14	Gitの管理下にあるファイルの削除 授業内評価テスト④					
15	Gitで管理しないフォルダの作成 後期の学習内容の紹介						
評価方法	(1)授業の中で授業内評価テストを数回実施する。(2)課題・レポートを2回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	○	◎				40%
	課題・レポート	○	◎		○		50%
	受講状況				◎		10%
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位未取得となる。 授業計画は状況により変更になることがある。 再試験は実施しない。						

科目名	Webプログラミング演習A						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	底田 浩次		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	WebプログラムであるPHP言語を学び、動作する原理とアルゴリズムを理解し、簡単なプログラムの作成方法を学んだ、XAMPP上で開発を行い、簡単なデータベースを用いた、Webプログラムの作成を目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				PHPの概念や役割を説明できる	
	○	○				PHPの基本関数、アルゴリズムを理解することが出来る。	
	○	○				DBの概念や役割を説明できる	
	○	○				DBを用いた、Webプログラミングを理解・作成することができる。	
テキスト・教材 参考図書	『いきなりはじめるPHP』(リックテレコム) 『すらすらわかるPHP』(翔泳社)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション 目的と開発環境に関して、開発環境の設定					
	2-6	HTML・PHPの基礎 アンケートページの作成				既習内容を必ず復習すること	
	7-11	変数・IF文 デバッグ 授業内評価テスト①					
	9-12	データベースの作成・PDOを使ったDBアクセス				既習内容を必ず復習しておくこと	
	13-18	授業内評価テスト②・lolipopへの実装 今までの振り返り					
	19-24	PHP文法 各種条件分岐文 各種制御文				既習内容を必ず復習しておくこと	
	25-29	授業内評価テスト③ 配列とforeach					
	30-32	ビルトイン関数と自作関数				既習内容を必ず復習しておくこと	
	33	授業内評価テスト④ WEBアプリケーションの作成					
	34-36	ファイルの読込と表示				既習内容を必ず復習しておくこと	
	37	授業内評価テスト⑤ 今までの振り返り lolipopへ実装					
	38-39	フォームの作成 GETメソッドとPOSTメソッド					
	41-42	フォームの作成 ファイルのアップロード					
	43-44	フォームの作成 画像の一覧表示 サムネイルの作成					
45	総括と、後期に向けたショッピングサイトの作成へ向けての学習						
評価方法	(1)授業の中で授業内評価テストを数回実施する。(2)課題・レポートを2回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	○	◎				40%
	課題・レポート	○	◎		○		50%
	受講状況				◎		10%
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位未取得となる。 授業計画は状況により変更になることがある。 再試験は実施しない。						

科目名	CAD演習A						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	手嶋 隆之		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	設計図に関する基本的な知識の習得と設計図の役割、設計図の書き方を理解する。 AutoCAD LTの操作方法を理解する。AutoCAD LTを利用して、サンプル設計図の作成と演習課題の作成を通して、設計図の作図に基礎知識の習得と作図技術の習得する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				設計図に関する基本知識と設計図の書き方を理解できる。	
			○	○		AutoCAD LTの基本操作を理解し、設計図に必要な基礎知識を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	はじめて学ぶ AutoCAD LT 作図・操作ガイド						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-2	AutoCAD LTの概要、AutoCAD LTの環境構築					
	3-4	CADの概要					
	5-6	【Part1】AutoCAD LTの基本操作					
	7-8	【Part1】AutoCAD LTの基本操作				授業内評価テスト①準備	
	9-10	授業内評価テスト①、【Part2】図形を描画する(2-1から2-4)					
	11-12	【Part2】図形を描画する(2-5から2-8)					
	13-14	【Part2】図形を描画する(練習問題①)					
	15-16	【Part3】図形を編集する(3-1から3-3)					
	17-18	【Part3】図形を編集する(3-4から3-6)					
	19-20	【Part3】図形を描画する(練習問題②)				授業内評価テスト②準備	
	21-22	授業内評価テスト②、課題①					
	23-24	課題①					
	25-26	課題②					
	27-28	課題③					
29-30	課題④						
評価方法	(1)授業内評価テストを2回実施する。(2)課題を数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	◎	◎				40%
	課題		◎		◎		50%
	受講状況				◎		10%
履修上の注意	再試験は実施しない。2/3以上の出席がない場合は単位未取得となる。授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	IT応用ⅡA						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	底田 浩次		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	SQLの種類と文法をステップアップ形式で学習する。MySQLを用いてデータベースの実装と操作を反復して行うことで、学習の定着を図り、他の科目との連携を計りながら、後期のWEBプログラミングへと繋げることを目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				DBの概要が理解、説明できる。	
	○	○				正規化に関して理解、説明できる。	
	○	○				主キー・外部キーに関して理解、説明できる。	
	○	○				E-R図が理解、説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	SQL入門教室 ソーテック社						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	データベースの基礎、RDBに関して					
	2	mariaDBのコマンド操作					
	3	実習用データベースの構築				既習内容を必ず復習しておくこと	
	4	SELET文① 授業内評価テスト①					
	5	SELET文② 複数条件 列の値の演算 別名					
	6	SELET文③ IN句 LIKE検索 SELECT文復習				既習内容を必ず復習しておくこと	
	7	ORDR BY・LIMIT句・集約関数 授業内評価テスト②					
	8	表の結合 内部結合・外部結合・左外部結合・右外部結合					
	9	GROUP BY・HAVING SQLの評価される順番				既習内容を必ず復習しておくこと	
	10	ビュー・サブクエリ・相関クエリ 授業内評価テスト③					
	11	UPDATE文・DELETE文					
	12	トランザクションの概念とロールバックとコミット 授業内評価テスト④				既習内容を必ず復習しておくこと	
	13	E-R図					
	14	E-R図の書き方				既習内容を必ず復習しておくこと	
15	授業内評価テスト⑤、総復習						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内評価テストを複数回実施する。 (3)授業内に課題演習を指示し、課題の完成度や提出状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	授業内評価テスト	◎	◎		○		40%
	課題演習	○	○		◎		10%
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位未取得となる。 授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語ⅢA						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	N1レベルの文法項目を学び、日常的な場面に加えてより幅広い場面で使われる日本語が理解し、運用できるようになる						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					日常のより幅広い場面で必要なN1レベルの文型を理解し、自分の言葉で説明できる	
	○					フォーマルな場面と日常的な場面での日本語の差異を理解し、適切な文法の使い分けができる	
		○				学習した文型を使って相手や状況にふさわしい文を作ることができる	
テキスト・教材 参考図書	『新完全マスター文法 日本語能力試験N1』(スリーエーネットワーク)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1・2	授業概要説明 問題紹介 / 第1部1課時間関係			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	3・4	第1部2課範囲の始まり・限度 /3課限定・非限定・付加			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	5・6	第1部4課例示 / 問題(1課~4課)			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	7・8	第1部5課関係・無関係 /6課様子			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	9・10	第1部7課不随行動 /8課逆説			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	11・12	問題(1課~8課) / 9課条件			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	13・14	第1部10課逆説条件 /11課目的・手段			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	15・16	第1部12原因・理由 / 問題(1課~12課)			授業内評価テスト①準備		
	17・18	授業内評価テスト① / 13課可能・不可能・禁止			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	19・20	第1部14課話題・評価の基準 /15課比較対照			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	21・22	第1部16課結末・最終の状態 / 問題(1課~16課)			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	23・24	第1部17課強調 /18課主張・断定			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	25・26	第1部19課評価・感想 /20課心情・強制的思い			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
27・28	問題(1課~20課) / 文法形式の整理A動詞の意味に着目1			授業内評価テスト②準備			
29・30	授業内評価テスト② / 文法形式の整理A動詞の意味に着目2			新出語彙等は必ず家で復習をすること			
評価方法	(1)授業内評価テストを実施する。(2)小テスト・課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
受講状況				◎		20%	
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位未取得となる。 授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語基礎ⅢA						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	日本語能力試験N1レベルの語彙をマスターするために、専門のテキストに沿って学習し、知識を積み上げていく。 また、学んだ語彙を使用した発話練習も行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	◎					日本語能力試験N1レベルの語彙を習得する	
		○				習得した語彙を適切な場面で運用できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	『新完全マスター語彙 日本語能力試験N1』(スリーエーネットワーク)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要説明、第1部1章1課「性格・人柄」・2課「人間関係・付き合い」			次回の予習・小テストの準備		
	2	第1部2章1課「日常生活」			次回の予習・小テストの準備		
	3	第1部2章2課「医療・健康」			次回の予習・小テストの準備		
	4	第1部3章「芸術・スポーツ」・4章「教育」			次回の予習・小テストの準備		
	5	第1部5章「仕事」			次回の予習・小テストの準備		
	6	第1部6章「メディア」			次回の予習・小テストの準備		
	7	第1部7章1課「経済・産業」・復習			次回の予習・授業内評価テスト①の準備		
	8	第1部7章2課「政治・法律・歴史」・授業内評価テスト①			次回の予習・小テストの準備		
	9	第1部7章3課「社会問題」			次回の予習・小テストの準備		
	10	第1部8章1課「自然・地形」・2課「技術」			次回の予習・小テストの準備		
	11	第1部9章1課「時間・空間」			次回の予習・小テストの準備		
	12	第1部9章2課「関係・変化」			次回の予習・小テストの準備		
	13	第2部1章1課「名詞」			次回の予習・小テストの準備		
	14	第2部1章2課「動詞」			次回の予習・授業内評価テスト②の準備		
15	復習・授業内評価テスト②						
評価方法	(1)授業内評価テストを実施する。(2)小テスト・課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位なしとする。 授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語応用ⅢA						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	N1レベルの聴読解問題に取り組み、実生活の幅広い場面で必要な読み聴きの力を習得することを目的とする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					N1レベルの語彙や表現を習得し、使用言語域を拡大することができる。	
		○				耳からの情報だけで話の要点を掴み、内容を理解し適当な応答をすることができる。	
		○				文章を正しく読み取り、文脈や話の意図が理解できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	『ドリル&ドリル日本語能力試験N1聴解・読解』(ユニコム)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要説明、読解:内容理解(短文)第1回			授業の復習および次回の予習		
	2	聴解:課題理解第1回、読解:内容理解(中文)第1回			授業の復習および次回の予習		
	3	聴解:ポイント理解第1回、読解:内容理解(長文)第1回、第2回			授業の復習および次回の予習		
	4	聴解:概要理解第1回、読解:統合理解第1回、第2回			授業の復習および次回の予習		
	5	聴解:即時応答第1回、読解:主張理解第1回、第2回			授業の復習および次回の予習		
	6	聴解:統合理解第1回①、読解:情報検索第1回、第2回			授業の復習および次回の予習		
	7	聴解:統合理解第1回②、読解:前期前半まとめ			授業内評価テスト①準備		
	8	授業内評価テスト①			授業の復習および次回の予習		
	9	聴解:課題理解第2回、読解:内容理解(短文)第2回			授業の復習および次回の予習		
	10	聴解:ポイント理解第2回、読解:内容理解(中文)第2回			授業の復習および次回の予習		
	11	聴解:概要理解第2回、読解:内容理解(長文)第3回、第4回			授業の復習および次回の予習		
	12	聴解:即時応用第2回、読解:統合理解3回、情報検索第3回			授業の復習および次回の予習		
	13	聴解:統合理解第2回①、読解:主張理解第3回、第4回			授業の復習および次回の予習		
	14	聴解:統合理解第2回②、読解:前期後半まとめ			授業内評価テスト②準備		
15	授業内評価テスト②						
評価方法	(1)授業内評価テストを実施する。(2)小テスト・課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位未取得となる。 授業計画は状況により変更になることがある。						



科目名	企業HR論A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	底田 浩次		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	留学生が日本で就職をし、仕事をしていく上で必要となる基礎的知識を学び、より円滑にコミュニケーションが取れるように自己発信力や傾聴力を伸ばし、社会人基礎力などを理解していく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○			○		日本で仕事をするために必要となる基本的な知識を身につけ、就労の準備ができる	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション					
	2	就職活動のルール、手続きについて①					
	3	留学生の就職活動の注意点①					
	4	留学生の就職活動の注意点②					
	5	日本の社会人の基礎知識(身だしなみ、志望動機のコツなど)①					
	6	日本の社会人の基礎知識(身だしなみ、志望動機のコツなど)②					
	7	日本の会社、企業、組織の特徴			授業内評価テスト①準備		
	8	日本の企業でのコミュニケーションについて					
	9	社会人基礎力とは① 授業内評価テスト①					
	10	社会人基礎力とは②					
	11	社会人基礎力理解度確認					
	12	日本人とのコミュニケーション①					
	13	日本人とのコミュニケーション②					
	14	職業観について			授業内評価テスト②準備		
15	まとめ 授業内評価テスト②						
評価方法	授業内評価テストおよび態度・意欲にて評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(60点未満)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	受講状況				◎		50%
	授業内評価テスト	◎					50%
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位なしとする。 授業計画は状況により変更になることがある。再試験は実施しない。						